

法人会 活動状況報告

令和8年度 税制改正提言活動!!

●●●●● 令和8年度の税制改正スローガン ●●●●●

- 社会保障に充てる消費税の減税は慎重な検討が必要
将来世代にツケを回さない仕組み作りを!
- 「金利ある世界」への回帰を踏まえ、
金融市場の動揺を招かない財政運営を!
- 企業への過度な社会保険料負担を抑制し、
中小企業の活性化に資する税制措置を!
- 本格的な事業承継税制を確立し、
地域経済と雇用の担い手の中小企業を守れ!

令和7年10月16日に高知県高知市で開催された法人会全国大会（高知大会）において、令和8年度税制改正に関する提言が決議され、上記スローガンの下、それぞれの単位会において税制改正要望活動を実施することとなりました。当会では、令和7年12月1日（月）、中山清志会長、田中栄一副会長(税制委員長)、瀬口力副会長、中満房夫副会長、木村寿雄副会長及び専務理事の6名で山鹿市役所を訪問し、早田順一山鹿市長と有働辰喜山鹿市議会議長と面談し、「令和8年度税制改正に関する提言書」を交付いたしました。中山会長のご挨拶ののち、専務理事が提言内容を説明しました。市長及び議長から当会の活動に対して感謝の言葉をいただくとともに、税制改正に関する提言活動に誠意をもって対応していただきました。

なお、主な要望事項は次のとおりです。

● 中小企業の活性化に資する税制改革

中小企業は地域経済の重要な担い手であるばかりでなく、我が国経済の礎であります。また、中小・零細企業は企業全体の9割以上、国内企業の7割を占める大きな存在である。そうした企業が将来にわたって存続し、存在感を発揮し続けるためには、中小企業の活性化が不可欠であり、地方創世の観点からも政府と自治体が緊密に連携しながら、地域の中小企業に元気を与えるような税制措置を求めたい。

● 消費税への対応

免税事業者等からの課税仕入れに係る経過措置について、80%控除可能となる措置が令和8年9月末までとなっているが、小規模事業者等が取引から排除されないよう、80%控除できる期間を当面の間、延長してほしい。また、小規模事業者に対する納税額に係る負担軽減措置（2割特例）について、適用期限は令和8年9月までとなっているが、小規模事業者等における消費税事務が定着するまで当面の間、延長してほしい。

● 新たな災害控除の創設

近年、日本各地で強い地震や台風などによる大規模な自然災害が相次いで発生している。東日本大震災の対応などを踏まえ、被災者の立場に立った適切な支援が求められる。よって、現行の雑損控除とは切り離し、新たな控除制度の創設を是非お願いしたい。熊本地震や人吉水害だけでなく、令和7年は、県内のあちこちで大規模な水害も発生しており、雑損控除の延長に止まらない新たな救済制度の創設をお願いしたい。

● 租税教育の充実

教育の重要性は広く語られており法人会も小学生を対象として出前租税教室等を開催している。しかしながら、税の意義や税が果たす役割を必ずしも国民が十分に理解しているとは言えない。そのため、学校教育はもとより社会全体で租税教育に取り組み、納税意識の向上を図っていく必要がある。

全国440単位会、約70万社が加入する法人会の「税制改正提言」は毎年の税制改正に大きな影響を与えています。

なお、提言書の内容は全国法人会総連合のホームページでご覧頂けます。



公益事業だより

◎親会 新設法人説明会(令和7年11月6日)



山鹿税務署三次統括官の説明



杉山社労士の説明

本年は、令和6年9月から令和7年8月までに新規に企業を設立された山鹿市28社、植木町17社の事業者以案内を送付し、3社4名の参加希望をいただきました。当日キャンセルもあり、結果として2社2名の少し寂しい説明会となりました。当会専務理事及び山鹿税務署の統括官のご挨拶ののち、DVD視聴の後、山鹿税務署の職員の方からの決算や源泉所得税について誤りやすい事項の説明がありました。特に、本年度は所得税の基礎控除の改訂や給与所得控除の引き上げ等、今後の年末調整に留意すべき事項が多々あり、各事業者の出席者は真剣に聞いておられました。

また、社会保険労務士（当会会員）の先生から、雇用や労務管理、また、効率的な助成金の活用方法の説明などしていただきました。毎年お世話になり感謝しております。

最後に、当会専務理事から法人の概要説明や新規入会の勧奨等を実施しました。

◎親会 第46回かほくまつり

令和7年11月15日(土)～16日(日)にかけて、鹿北町グランドにおいて「第46回かほくまつり」が開催されました。

天気の影響も心配されましたが、両日ともに、とても暖かい日の中での開催でした。「税金クイズ」は先着60名を募集し、栗原輝美女性部会長の司会の下、当初はなかなか人員が減らず、少し焦る司会者の姿も。しかし、ある問題ではほぼ全員間違いのブースへ移動。司会から「本当にいいんですね？」と優しい声かけがあったにも関わらず、動かず。残ったのは低学年の2名。ちゃっかりと賞品のお買物券をゲットしてニンマリでした。

子供たちを喜ばせようと着ぐるみにチャレンジした某専務。ステージの上であいさつしようと頭を下げた拍子にぬぐるみの頭がとれて会場の皆様も含めて大爆笑。ちょっぴり恥ずかしいハプニングでした。

また、「輪投げ」、「射的」の参加賞に用意したうまい棒500本。1本、1本に税の種類や使われ方が記載されたメモを貼付し、ゲームの参加者に差し上げました。税の理解が進むとうれしいです。



輪投げと射的ゲーム



税金クイズ大会の始まり！



60名の参加者



優勝者と2位と栗原部会長